

vol.
12892020・2021
MEETING

CLUB NEWS

2021-2022年度 国際ロータリーテーマ 奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

YAMAGATA CENTRAL
JAPAN

〒990-0031 山形市十日町1-1-26 歌懸稲荷神社社務所ビル2F TEL(023)632-7777 FAX(023)624-5200

例会 毎週火曜日12:30~13:30(但し第5週は18:30~) 会場 ホテルメトロポリタン山形

■会長 長橋 正人	■職業奉仕 今野久仁正	■副幹事 佐竹 猛
■会長エレクト 石山 徳昭	■社会奉仕 諏方 均	■会計 阿部 美春
■副会長 玉ノ井憲史	■青少年奉仕 鹿野 淳一	■S A A 柴田 修英
■直前会長 小林 敏郎	■国際奉仕 奥山 宏	国際ロータリー会長 シェカール・メータ(インド)
■クラブ管理運営 相川 博昭	■幹事 佐藤 太	第2800地区ガバナー 矢口 信哉(東根)
		第5ブロックガバナー補佐 結城 和生(山形西)

◆日時 / 2022.6.14 12:30 ◆例会場 / ホテルメトロポリタン山形 ◆ソング / 我等の生業

奉仕しよう みんなの
人生を豊かにするために

▶ 会長挨拶



皆さん、こんにちは。今日は米山獎学生のドゥワディ・アバス君に卓話ををお願いしております。アバス君、後程宜しくお願い致します。

さて、皆さんにご紹介した通り、アバス君はネパールのご出身です。卓話の中でお国の事に触れられるかどうか、実はネパールでも古くからソバが栽培されておりまして、主に標高3000メートルから3500メートルの山岳地帯、しかも急峻な地形を利用して栽培されているとの事です。品種としては皆さんが普段口にされる所謂普通そばとダッタンそばがほぼ同じ割合との事で、ここ数年は収量の多い普通そばが増加傾向にあるとの事です。人々、ソバの原産地はネパールからチベットにかけての山岳地帯と言われておりますので、原種に近いダッタン種が多いというのも肯ける話であります。ソバは麺にしたりおかゆ状にしたり、或いは日本のそばがきの様にして食べるのですが、あまり米がとれない寒冷地、もしくは瘦せた土地の多い地方でソバの栽培が盛んであるというのは日本と同じ

だと納得してしまいます。

今から約30年前に信州大学の宮崎教授というソバの第一人者がネパールに於けるソバ栽培の実情と生産の拡大の可能性を探るべくネパールの生産地を視察された事がありました。その報告書によれば、ある程度の機械化を進めれば栽培面積を拡大し収量を増やす事については気候、土壤の面では何ら問題はないとの事でしたが、仮にそうなったとして輸出することを視野に入れるとなると、やはり道路などのインフラと積み出し港、ネパールの場合はインドになるそうですが、日本までの輸送の日数とコストの問題がネックになるそうです。中国におんぶにだっこのそば業界にとって輸入国の分散は喫緊の課題なのですが、以前お話をしたモンゴルをはじめ、こうしたソバ栽培の文化がある国々との関係強化は我々の業界にとって大変重要な問題であり、そばという日本の食文化を守るためにもこうした事を真剣に考えるべき時期に来ていると改めて考えさせられた次第です。

本日も宜しくお願い致します。



高橋恭治／アバスさん卓話ありがとうございました。同じ仙台出身、山大として応援します。頑張ってください。

板垣喜代志／本日のゲスト卓話アバスさんに感謝して。今後の活躍をご祈念します。

長橋正人・佐藤太／アバス君の卓話に感謝します。いつかネパールに行ってみたいものです。

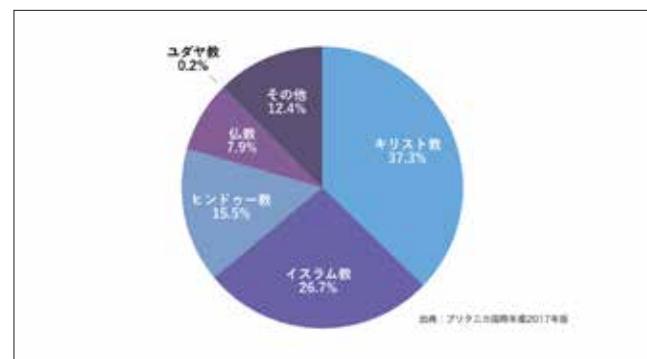
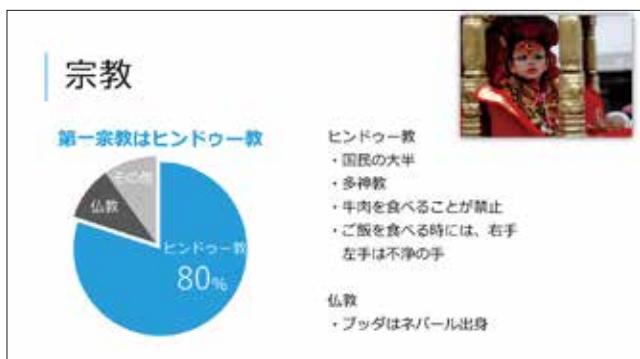
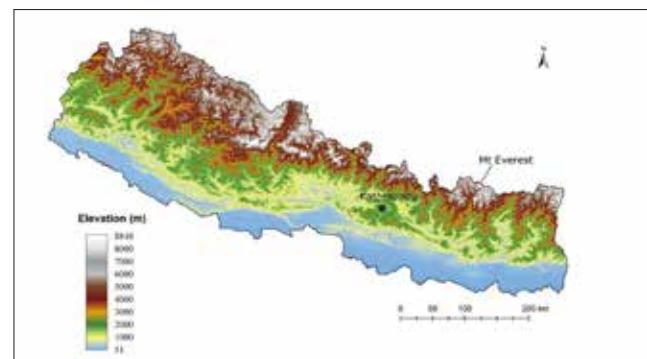
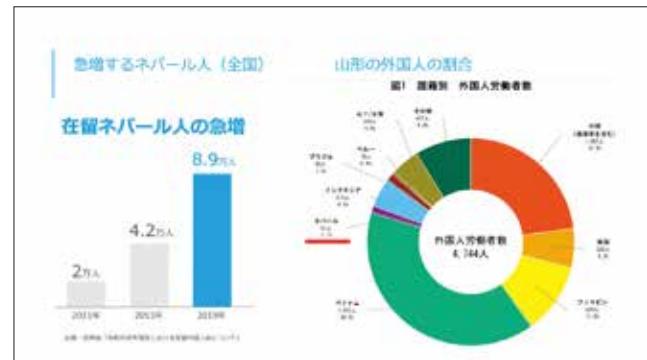
▶ 本日出席・修正出席

	会員総数	出席義務出席数	出席会員数	出席率
本日出席	38名	—	20名	—
修正出席				
他クラブでマークアップされた会員				



ゲスト卓話

米山奨学生
ドウワディ アバス氏



チトワン国立公園



・700種類以上の動物、鳥類
→500種類の野鳥（世界の鳥の5%）

- ・野生のトラ、ヒョウ、象、サイ…
- ・象に乗ってサファリができる
- ・世界自然遺産に登録



象に乗ってサファリができる！



一生の思い出になります！（私が保証します）



ご清聴ありがとうございました！



R4.4.23(土) ホテルメトロポリタン山形 山形RC創立70周年記念式典

(山形中央RCより5名の出席)

